

高瀬公民館運営委員会 佐賀方面視察研修

広報 たか せ

第248号

令和8年1月1日

日田市高瀬公民館

館長 高田 義友

主事 荒倉 寿也

電話：24-2705

FAX：24-4075

地域資源の活用と歴史に学ぶ



住民出資で運営されている「松隈小水力発電所」



タービン



取水口

12月4日(木)高瀬公民館運営委員会の委員で、佐賀方面へ視察研修に行きました。はじめに佐賀県吉野ヶ里町松隈地区にある「松隈地区小水力発電所」を見学しました。この発電所は、既存の用水路を活用した小水力発電で、稼働から5年が経過し、これまでに地区へ約1,000万円の利益をもたらしています。年間の売電収入は約800万円で、経費を差し引いた約190万円が地区の収益となり、集会所整備など地域内の暮らしの改善に役立てられています。



高瀬公民館運営委員会の委員で、佐賀方面へ視察研修に行きました。はじめに佐賀県吉野ヶ里町松隈地区にある「松隈地区小水力発電所」を見学しました。この発電所は、既存の用水路を活用した小水力発電で、稼働から5年が経過し、これまでに地区へ約1,000万円の利益をもたらしています。年間の売電収入は約800万円で、経費を差し引いた約190万円が地区の収益となり、集会所整備など地域内の暮らしの改善に役立てられています。



午後には吉野ヶ里遺跡を訪れ、現地ガイドの方から日田市の小迫辻原遺跡と比較しながら分かりやすい説明を受け、地域の歴史や文化への理解を深める、有意義で実り多い研修となりました。

水資源に恵まれていることから「高瀬地区でも活用できれば」との声が参加者から多く聞かれました。午前中の研修を終えた後は、お土産屋と温泉施設が併設された施設内の「利休亭」で昼食をとり、地元食材を使った料理を味わいながら交流を深めました。



左画像の「高見櫓」から見下ろしている。



室内展示室で説明を受けている。

男の料理教室

この時はかりは、いつも陽気で冗談しか言わない古賀さんも真剣です。

一日研修を実施

12月11日(木)、男の料理教室の一日研修として「千曲屋明太スタジアム」を訪れ、辛子明太子作りに挑戦しました。

塩加減や辛さを自分好みに調合し、参加者それぞれがオリジナルの辛子明太子を完成させました。

完成後は持ち帰り、食べられるまでに三つの工程が必要となります。行程を守らなければおいしい明太子は完成しないため、参加者は少し緊張した様子でしたが、出来上がりへの期待も高まっています。

研修後は、福岡ドームにあるマークイズで中華料理を味わい、学びと交流の充実した一日となりました。



明太子を作る調味料です。



ひたあるき

12月13日(土)日田市公民館運営事業団主催による「ひたあるき」が開催されました。

午前中の寒い時間帯での実施となりましたが、市内各地から約200人が参加しました。高瀬公民館からは8名が参加し、三隈川周辺をコースとしたウォーキングを楽しみました。

本事業は市内20館による合同事業で、実に6年ぶりの開催となりました。参加者からは「普段何気なく通つて

子育てサロン



いる町でも新たな発見があった」との声も聞かれ、改めて日田の魅力を感じる一日となりました。

12月1(金)9日の子育てサロンでは、クリスマスが近づくと、クリスマス会を開催しました。

今回は12組の親子が参加し、会場は終始和やかな雰囲気になりました。会場にはクリスマスツリーや飾り付けが施され、子どもたちは目を輝かせながらクリスマスモードを満喫していました。

年頭のごあいさつ
新年あけましておめでとうございませう。

高瀬地区の皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、公民館活動に對しまして多くのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。各種講座や行事を通じ、世代を超えた交流や学びの場が広がったことを大変うれしく思っております。

本年も公民館は、地域の皆さまが気軽に集い、学び、つながる拠点として、より身近で開かれた活動を進めてまいります。高瀬の歴史や自然、人と人のつながりを大切にしながら、笑顔あふれる地域づくりに取り組んでまいります。

皆さまにとって、明るく実り多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和八年 元日

高瀬公民館長 高田 義友

